

弘前大学学報



卒業後記念写真に収まる卒業生

第 108 号
平成25年 3月号

学内ニュース

○平成24年度学位記授与式を挙	-----	1
○平成24年度学位記授与式告辞	弘前大学長 佐藤 敬	----- 2
○平成24年度大学院学位記授与式告辞	弘前大学長 佐藤 敬	----- 4
○弘前大学大学院保健学研究科：ストックホルム大学放射線防護研究センターと 部局間学術協力協定を締結	-----	6
○平成24年度弘前大学学生表彰を実施	-----	7
○文部科学省科学技術戦略推進費 地域再生人材創出拠点の形成 「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」平成24年度修了式を開催	-----	8
○弘前大学永年勤続者表彰 ～永年の功績を称える～	-----	9
○「弘前大学高大連携公開講座修了証書授与式」を実施	-----	11
○平成24年度弘前大学T A研究会を開催	-----	12

諸 会 議	-----	13
--------------	-------	----

人 事

○新任部局長等紹介	-----	16
○新任教授紹介	-----	16
○人事異動	-----	16

主要日誌	-----	22
-------------	-------	----

学内規則等の制定等	-----	23
------------------	-------	----

平成24年度弘前大学学位記授与式を挙行

3月22日（金）、平成24年度「弘前大学学位授与式」及び「弘前大学大学院学位記授与式」が来賓、関係者出席の下、厳かに行われました。

「弘前大学学位授与式」は第1部、第2部の二部制で行われ、第1部（人文学部、教育学部）が11時から、第2部（医学部、理工学部、農学生命科学部）が13時30分から執り行われました。

始めに佐藤学長から学位記が各学部のそれぞれの代表の学生に授与されたのに続き、学長の告辞、そして卒業生が答辞を述べ、式典を終えました。

式典終了後は、記念写真に収まるグループや後輩達から胴上げの祝福を受けるグループなど、体育館前は祝福ムードでいっぱいでした。

また、大学院学位記授与式は同日9時から創立50周年記念会館みちのくホールにて、教育学部附属学校園の卒業式は、小学校が3月17日（日）、中学校が3月8日（金）、特別支援学校が3月9日（土）、幼稚園が3月19日（火）に各学校園においてそれぞれ執り行われました。

○弘前大学

学士学位記

人文学部	326名
教育学部	230名
医学部医学科	107名
医学部保健学科	210名
理工学部	283名
農学生命科学部	183名
計	1,339名

○弘前大学大学院

修士又は博士前期学位記

人文社会科学研究科（修士）	12名
教育学研究科（修士）	23名
保健学研究科（博士前期）	21名
理工学研究科（博士前期）	104名
農学生命科学研究科（修士）	48名

博士又は博士後期学位記

医学系研究科（博士）	1名
医学研究科（博士）	39名
保健学研究科（博士後期）	8名
理工学研究科（博士後期）	1名
地域社会研究科（博士後期）	1名

論文博士

医学研究科	2名
地域社会研究科	1名
計	261名

○附属学校園

小学校	108名
中学校	197名
特別支援学校	16名
幼稚園	40名
計	361名

平成24年度弘前大学学位記授与式

告 辞

弘前大学長 佐藤 敬



長く厳しかった冬もようやく去ったとはいえ、いまだ寒さの残る、この春の日に、ここ弘前大学第一体育館において、平成二十四年度の学位記授与式を挙げるにあたって、告辞を述べさせていただくことは私にとって、大きな喜びとするところです。

まずもって、本日、卒業の時を迎えられた皆さんに心よりお祝いを申し上げます。皆さん、卒業おめでとうございます。また、本日ご多忙の中、この学位記授与式にご臨席いただいたご来賓の皆様には、心よりお礼を申し上げます。大変ありがとうございます。

今年は、弘前市民会館が改修中のため、学位記授与式をこの体育館で実施することになりました。オーケストラの演奏もなく、卒業生のご家族にも参列いただくことができないなど、例年の式典に比べて物足りなさを感じている人も居られるかもしれません。しかし、大学としては、さまざまな可能性を真剣に考慮した上での、最大限の対応であることをご理解いただきたいと思います。

さて、今、卒業生の皆さんは、どのような思いで、弘前大学での学生生活の日々を振り返っているのでしょうか。皆さんの学生生活は、それぞれに充実したものだったと思いますが、同時に幾ばくかの後悔を感じている人も居られるかもしれません。しかし、皆さんは、この弘前大学での学生生活を通して、十分に自らを育み成長してきたことは間違いありません。是非そのことに自信をもって、これからの社会人としての活動に臨んで欲しいと思います。今後皆さんが我が国のリーダーとして力強く活躍されることをもって、弘前大学がその使命を果たすことにもなります。

そこで重要なのは、大学の卒業をもって学問が終わるわけではなく、今後も皆さんの前には大いなる学問の世界が広がっているということです。当然のことながら、今後の学問の在り方はこれまでのものとは違っているかもしれませんが、これまで学んできたことを生かして、引き続き学問に勤しむ覚悟を、今日ここで新たにさせていただくよう切に願っています。

最近の学術上の出来事として、昨年十月に、京都大学 山中伸弥 教授の IPS 細胞研究に対してノーベル医学生理学賞が授与されたことは、大変大きなことでした。それは、山中教授ご本人はもちろん、我が国全体にとっての榮譽でもあることに間違いありません。これを機に、再生医療に対する期待も大いに高まりました。しかし、「私はまだ誰も助けていない」という山中教授ご自身の言葉に、学問に徹する人としての誠意を見ることができると私は思います。

例えば、かつて蒸気機関の導入が世界の産業を大きく変えたように、一つの発明・発見が直ちに世の中を劇的に変えることは、発達した学問の成果を享受している今日の社会では、ほとんど期待できないと言って良いと思います。また、学問の世俗的成果を安易に追求することには、しばしば危険が伴う可能性のあることも、私たちは忘れてはなりません。世界で最も権威あるとみなされるノーベル賞でさえ、顕彰の対象となった業績が後に完全に否定されたものがあるのも事実です。したがって、学問に携わるすべての人々、そして皆さん自身も、学問の成果に対しては、科学的かつ客観的な姿勢で臨み、自らの学問成果の本質を正しく社会に発信していくこと、そして他領域の学問の成果を冷徹な眼で見ることが必要だと思います。皆さんの今後のお仕事の一コマ一コマがすべて学問の機会であること、しかも、その成果が正しく活用されるべきであることを銘記して、これまでも増して努力して下さいよう願っています。

皆さんが学生生活を送ったこの弘前市は、地方の小都市ではありますが、歴史と文化の香りにあふれ、市民の方々は弘前大学生を大切に下さっています。また、市長さんをはじめ、多くの方々から弘前大学生の勉学や生活に対して大きなご支援をいただけてきました。皆さんは、この弘前の地で勉学できたことに対する感謝の念を忘れることなく、そして弘前大学で学んだことの誇りを胸に、今後ますます活躍されるよう願っています。最後になりますが、なにより、卒業生の皆さんの今後のご健康とご多幸を祈念して、告辞といたします。



告 辞

弘前大学長 佐藤 敬

長く厳しかった冬もようやく去ったとはいえ、いまだ寒さの残るこの春の日に、ここ弘前大学五十周年記念会館みちのくホールにおいて、平成二十四年度の大学院学位記授与式を挙げるにあたって、告辞を述べさせていただくことは、私にとって大きな喜びとするところであります。



まずもって、本日大学院を修了し、学位を取得された皆さんに心よりお祝いを申し上げます。皆さん、おめでとうございます。

皆さんが今日の日を迎え、修士あるいは博士の学位を取得されることに対し、皆さん自身の永年にわたる努力の成果として、心から敬意を表するものですが、一方では、これまで学問を続けられたことには、ご家族や社会からの大きな支援があったことも事実です。そのことへの感謝を決して忘れることなく、我が国とそして国際社会のリーダーとして力強く活躍することを目指すよう、努力していただきたいと強く願っています。

さて、最近の日本社会にあっては、アベノミクスと称される金融緩和政策の成果を歓迎し、評価する声が高いように思われますが、一部の専門家からは反対の意見も聞かれます。その正否を判断することは私にはできず、また、直ちに評価できるものではないのではと思います。しかし、間違いなく言えることは、我が国の確固たる未来にとって最も重要なのは、一言で言えば、新たな創造、いわゆるイノベーションであります。日本社会の継続的な発展を期するためには、製造業はもちろんのこと、あらゆる分野におけるイノベーションを果たしていくことが求められ、そのための人材が重要です。例えば、昨年末以来の株価の上昇は、企業の資金調達を容易にしますが、それにとどまらず、調達した資金を、どのように生かし、何を生み出すかが常に問われていると思います。その意味で、我が国の未来は間違いなく皆さんの双肩にかかっています。

残念ながら、私たち一人ひとりの力は限られており、科学技術の発達や、社会制度の成熟を果たした現代において、大きなイノベーションを一人の力で達成することはきわめて難しく、稀なことかもしれません。しかし、皆さんは未来の目標の大いなることに絶望することなく、少なくとも、果敢に挑戦する気概を持って努力して欲しいと思います。そのことを通して、我が国の社会のリーダーとして活躍して下さることが、本学の教育・研究の成果でもあります。

昨年の告辞でも申し上げたことですが、本日皆さんは、修士あるいは博士というグレードを得られた訳で、そのことがグラデュエーション、即ち、卒業式の意味であり、決して学問からの卒業を意味するものではありません。グラデュエーションの他に、始まりを意味するコメンズメントという英単語も卒業式を意味します。正しく、皆さんにとっての学問は本日をもって終わる訳でなく、新たに始まるとの認識を持つことが最も大切です。今後の学問は、あるいは、これまでのものとは表面的には異質なものかもしれませんが、これまでの努力が必ず生かされるであろうことは間違いありません。これからも学ぶことを忘れずに進んで行っていただきたいと思います。

終わりに、皆さんは、これまで長い年月にわたって学び続けることのできた幸福を忘れることなく、皆さんのご家族や教職員、そして社会全体に対する感謝を今一度思い出して頂くよう、お願いします。そしてなにより、本日、修士または博士の学位を取得された皆さんの、今後のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げて、告辞といたします。



弘前大学大学院保健学研究科 ストックホルム大学放射線防護研究センターと部局間学術協力協定を締結

保健学研究科は、スウェーデン王国・ストックホルム大学放射線防護研究センターと学術協力協定を3月6日に締結しました。

調印式は、医学部コミュニケーションセンターで行われ、ストックホルム大学放射線防護研究センター長を務めるアンジェイ・ヴォイチク教授が来訪し、対馬均保健学研究科長と協定書へ署名を行いました。

ストックホルム大学は、スウェーデンの首都ストックホルムにある国立大学で、1878年に設立され、自然科学・人文科学・法学・社会科学の4学部を有しています。同大学放射線防護研究センターでは、放射線生物学、放射線環境学、放射線計量学などの分野に携わる科学者達を擁しています。

協定書は、人的交流の発展と教育・研究の交流を促進することを目的とし、研究協力・施設の相互利用・教職員の交流・学生の交流等7つの項目が記載されており、双方にとって非常に有意義な連携となることが期待されます。

また、放射線線量評価の世界的権威であるヴォイチク教授による講演が行われ、普段は聞くことのできない放射線被ばく線量評価の現状および問題点について学びを得ることとなりました。



協定書に署名する対馬保健学研究科長⑤と
ヴォイチクセンター長⑥



ヴォイチク教授による講演

平成24年度弘前大学学生表彰を実施

研究活動や社会活動、課外活動で活躍した学生及び学生団体を表彰する「学生表彰授与式」が、3月6日（水）事務局3階大会議室で実施されました。

今回の受賞者は、課外活動等で活躍した11団体および研究活動や社会活動、課外活動で活躍した学生34名で、表彰式には各研究科長および各学部長、指導教員、サークル顧問の教員が出席し、佐藤学長から学生1人ひとりに表彰状と記念品が贈呈されました。

佐藤学長から、「この度の受賞は、自分一人で得たものではなく、周りの指導教員なり顧問教員また学友の協力支援があってその活動が高く評価されたものであり、弘前大学の誇りでもある。」と学生の功績を讃える言葉が贈られました。

教育学部生涯教育課程4年の油川慧子さんが受賞者を代表し、「私たち学生が、それぞれの目標を達成するための平等なチャンスを与えられ、非常に恵まれた環境に身をおかせていただいた。」と謝辞を述べました。



佐藤学長(前列右から7人目)と受賞者ら

文部科学省科学技術戦略推進費 地域再生人材創出拠点の形成 「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」平成24年度修了式を開催

3月7日（木）に、平成24年度文部科学省科学技術戦略推進費 地域再生人材創出拠点の形成プログラム「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」の修了式が、弘前市内のホテルにて開催されました。

同事業は、原子力関連施設が数多く存在する青森県の地域再生計画に基づいて行われるもので、弘前大学及び青森県、原子力事業者が連携し、専門性の高い教育研究カリキュラムを構築すること及び被ばく医療のプロフェッショナルを育成することを目的として行われています。

今回、初めての修了生となる1期生は、科学コース3名（診療放射線技師2名、大学教員1名）、医科学コース6名（看護師3名、救急救命士2名、青森県職員1名）の計9名で、被ばく医療の基礎から救命救急医療に及ぶ幅広い専門領域を学び、海外研修も経験してきました。

修了式では、佐藤学長が一人ひとりに修了証書を授与し、「学んだことが、仕事の一助となるとともに、県民の安心安全に貢献してくれることを願っている。」と激励しました。三村青森県知事（山中医師確保対策監代読）の挨拶に続き、放射線医学総合研究所の明石理事が祝辞を述べました。受講生を代表し、東青地域県民局地域健康福祉部保健総室勤務 佐々木 久美子さんから「被ばく医療の専門性を高める貴重な時間になった。自己研さんを積み、本県の被ばく医療対策の向上に貢献したい。」との決意が述べられました。

修了式終了後、修了生・受講生・授業担当者・事業関係者を交えた情報交換会が開催され、活発な意見・情報交換が行われました。

今後は、修了生の知識を生かす被ばく医療のネットワークを構築し、継続的に情報共有を行っていくこととしています。



修了式にて式辞を述べる佐藤弘前大学長



修了式列席者による記念撮影

弘前大学永年勤続者表彰 ～永年の功績を称える～

平成25年3月31日をもって退職される方々及び在職者に対する弘前大学永年勤続者表彰式が、3月21日（木）創立50周年記念会館みちのくホールにおいて、理事・部局長等の列席の下に執り行われました。

式典では、佐藤 敬学長から退職表彰者並びに在職（20年）表彰者に対し、永年にわたり職務に精励されたその功績が称えられ、表彰状及び記念品が授与されました。

また、退職表彰者を代表して人文学部 四宮 俊之 教授から、在職（20年）表彰者を代表して農学生命科学部 石黒 誠一 教授から、それぞれ感慨を込めた謝辞が述べられました。

今回、表彰を受けられた方々は次のとおりです。

○退職者表彰 36名（敬称略）

学 務 部	藤田 裕彦
施設環境部	菊池 孝雄
学術情報部	奈良岡芳美
人文学部	船木 洋一、 四宮 俊之
教育学部	肥田野 豊、 豊嶋 秋彦、 山形 昌弘、 角田 秀子
医学研究科	石原 弘規
保健学研究科	中村 光男、 西野加代子、 石戸 俊雄、 中野 京子、 稲葉 孝志
医学部附属病院	吉田 操、 斉藤 順子、 砂田 弘子、 佐々木幸子、 品川 弘子 菊地 壽美子、 工藤 恵理子、 工藤 ふみ子、 明石 美智子、 外崎 えつ子
理工学研究科	匂坂 康男、 須藤 新一、 清水 俊夫、 吉岡 良雄
農学生命科学部	宮入 一夫、 高橋 照夫、 城田 安幸、 萩原 守、 福地 博 角野 三好
アイソトープ総合実験室	黒滝 孝雄



○在職（20年）表彰者 48名（敬称略）

総務部	小澤 真也				
学務部	唐牛 孝明				
施設環境部	田村 貴之				
学術情報部	菊池 優雅、	三浦 尚子、	嶋元 貴彦		
人文学部	奥野 浩子、	森 樹男、	澤田 真一、	照井 透	
教育学部	森山 隆、	蒔苗 幸夫、	小松 千雪		
医学研究科	中澤 満、	福田 眞作、	古川 賢一、	和田 龍一、	花田 裕之
保健学研究科	加藤 拓彦、	三浦 富智、	嶋海 博志		
医学部附属病院	長谷川公栄、	村田 雅明、	小山真樹子、	高屋敷満寿、	熊谷千賀子
	伊藤 咲子、	工藤 正純、	櫛引美穂子、	竹内 香子、	古川真佐子
	小友 リカ、	中村 美香、	奈良 順子、	増田美也子、	高田 順子
	工藤 千晶、	加藤 龍子			
理工学研究科	加藤 博雄、	鈴木 裕史、	宮本 量、	津村 浩三、	丹波 澄雄
	水田 智史、	堀井 智実			
農学生命科学部	石黒 誠一、	牛田 千里			
地域社会研究科	佐々木純一郎				



「弘前大学高大連携公開講座修了証書授与式」を実施

平成24年度後期「高大連携公開講座修了証書授与式」が3月15日（金）に弘前大学創立50周年記念会館会議室で実施されました。

今回の修了生は、青森県立弘前高等学校から5名、青森県立弘前工業高等学校から1名の計6名で、授与式には、中根理事（教育担当）並びに当該高等学校長等が出席し、中根理事から一人ひとりに修了証書が手渡されました。

これを受けて、受講生を代表し青森県立弘前高等学校2年の村元しおりさんから挨拶があり、続いて高等学校を代表して弘前高等学校長から謝辞が述べられ、授与式は終了しました。

授与式終了後には、授業担当教員と受講生とが挨拶を交わすなどの姿が見られ、和やかな雰囲気に包まれました。



中根理事から修了証書を授与される修了生



修了生による挨拶

平成24年度弘前大学TA研修会を開催

3月26日（火）、弘前大学創立50周年記念会館「岩木ホール」において、弘前大学教育委員会の主催による平成24年度弘前大学TA研修会が開催されました。

本研修会では、TAに従事した大学院生から互いの経験について発表し合う機会が設けられ、課題を共有してもらうことで教育支援能力の向上を期待するとともに、望ましいTA制度のあり方について、教職員およびTAへの従事を予定している学生に議論及び考察してもらうことを目的に行われました。

参加者は、TAを経験した学生、及び次年度にTA従事を予定している学生、教員、実施スタッフ合わせて約30名となりました。

はじめに、中根理事（教育担当）からTAの心構え等について説明があり、第一部では21世紀教育センター副センター長の田中准教授の司会進行により、3名のTA経験学生から、業務内容やTA従事を振り返って苦労した点、及び学んだ点、成長した点等について発表がありました。

引き続き、第二部では、次年度にTA従事を予定している学生4～5名に、TAを経験した学生1名、及びファシリテーターとして教育委員会委員1名を加えたグループ4つでラウンドテーブルを行い、TAを経験したうえでうまくいったこと、困ったこと、これからTAを予定している後輩に向けた助言などについての討議が行われ、それぞれのグループが発表を行いました。

ラウンドテーブルでは「TAは学生に間違った情報を与えないように発言に責任を持たなければならない」「学生が何に困っているのかを積極的に知ろうとすることが大事である」「授業を受ける学生の立場に立って行動する」など、TAに従事するうえでの留意点などが発表され、参加者は次年度からのTA従事に向け、決意を新たにしていました。



冒頭挨拶する中根理事



ラウンドテーブルの様子

■ 諸 会 議

▼役員会

3月4日（月）

審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会の報告について
- 2 学内諸規則等の一部改正について
 - (1) 国立大学法人弘前大学職員就業規則等の一部改正について
 - (2) 弘前大学21世紀教育科目履修規程の一部改正について
 - (3) 弘前大学21世紀教育科目における「大学以外の教育施設における学修」の単位認定に関する規程の一部改正について
 - (4) 弘前大学医学部附属病院規程の一部改正について
- 3 食料科学研究所の設置に係る規則等の整備について
- 4 平成25年度の業務運営に関する計画（年度計画）（案）について
- 5 入学者受入方針（アドミッションポリシー）の改訂について
- 6 平成28年度大学入試センター試験及び個別学力検査における実施教科・科目等について
- 7 寄附講座の設置について
- 8 国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会において調査・審査すべき事案について

報告事項

- 1 「弘前大学本町地区構内交通管理細則」等の制定について
- 2 学寮の内外装改修工事に伴う職員宿舍、寄宿料等の取扱いについて
- 3 平成25年度の東日本大震災による被災学生への経済的支援について
- 4 平成25年度弘前大学内地研究員選考結果について
- 5 青森商工会議所との連携について
- 6 平成24年度国立大学改革強化推進事業について

3月18日（月）

審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会において調査・審査すべき事案について
- 2 学内諸規則等の一部改正について
 - (1) 国立大学法人弘前大学職員就業規則等の一部改正について
 - (2) 弘前大学21世紀教育科目履修規程の一部改正について
 - (3) 弘前大学21世紀教育科目における「大学以外の教育施設における学修」の単位認定に関する規程の一部改正について
 - (4) 弘前大学医学部附属病院規程の一部改正について
 - (5) 国立大学法人弘前大学事務組織規定の一部改正について
 - (6) 国立大学法人弘前大学職員給与規程の一部改正について
- 3 大学間交流協定の更新（コンケン大学、ヒッペリオン大学）について
- 4 入学者受入方針（アドミッションポリシー）の改訂について
- 5 平成28年度大学入試センター試験及び個別学力検査における実施教科・科目等について
- 6 寄附講座の設置について
- 7 平成25年度の業務運営に関する計画（年度計画）（案）について
- 8 教員業績評価及び組織評価に係るインセンティブについて
- 9 平成24年度予算実施計画の変更について
- 10 平成25年度予算配分方針について

報告事項

- 1 「食料科学研究所」看板除幕式の実施について

3月25日（月）

審議事項

- 1 学内諸規則等の一部改正について
 - (1) 国立大学法人弘前大学職員就業規則等の一部改正について
 - (2) 国立大学法人弘前大学職員給与規程の一部改正について
 - (3) 国立大学法人弘前大学職員給与規程の一部改正について
- 2 食料科学研究所の設置に係る規則等の整備について
- 3 平成25年度の業務運営に関する計画（年度計画）（案）について
- 4 平成24年度予算実施計画の変更について
- 5 平成25年度予算実施計画（案）について
- 6 弘前大学大型重点プロジェクトについて

報告事項

- 1 平成25年度予算配分方針について
- 2 旧市民図書館及び柳川庁舎の借用に係る青森市との覚書の締結について
- 3 業務改善に関する検討結果について
- 4 平成24年度知的財産本部活動報告について

▼教育研究評議会

3月5日（火）

審議事項

- 1 学内諸規程等の一部改正について
 - (1) 国立大学法人弘前大学職員就業規則等の一部改正について
 - (2) （取り下げ）
 - (3) 弘前大学21世紀教育科目履修規程の改正について
 - (4) 弘前大学21世紀教育科目における「大学以外の教育施設における学修」の単位認定に関する規程の改正について
- 2 食料科学研究所の設置に係る規則等の整備について
- 3 平成25年度の業務運営に関する計画（年度計画）（案）について
- 4 大学間交流協定の更新について
- 5 入学者受入方針（アドミッションポリシー）の改訂について
- 6 平成28年度大学入試センター試験及び個別学力検査における実施教科・科目等について
- 7 医学研究科における寄附講座の設置について
- 8 弘前大学医学部附属病院規程の一部改正について

報告事項

- 1 教員の人事について
 - (1) 教員の採用・昇任
- 2 学寮の内外装改修工事に伴う職員宿舍、寄宿料等の取扱いについて
- 3 研究戦略企画会議報告（1月11日開催分）
- 4 委員会等報告
 - (1) 21世紀教育センター運営委員会（2月21日開催分）
 - (2) 教育委員会（2月27日開催分）
 - (3) 入学試験委員会（2月14日開催分）
 - (4) 研究委員会（2月19日開催分）
- 5 海外協定校からの留学生に対する授業料等の免除等措置について

▼経営協議会・教育研究評議会合同会議

3月19日（火）

審議事項

- 1 平成24年度の総括及び今後の課題等について

▼総務委員会

3月21日（木）

審議事項

- 1 平成25年度予算実施計画原案について

▼教育委員会

3月27日（水）

報告事項

- 1 教育者総覧入力状況について
- 2 平成24年度弘前大学 TA 研修会について
- 3 サークル棟の使用等について
- 4 平成24年度学生ボランティア活動助成報告について
- 5 平成25年度入学者 弘前大学ゆめ応援プロジェクト決定者数について
- 6 日本学生支援機構以外の奨学金制度の選考委員について
- 7 学寮の内外装改修工事に伴う職員宿舎への寮生入居について

▼研究委員会

3月19日（火）

審議事項

- 1 第6回テーマ募集事業「科学者発見プロジェクト」実施要項（案）について

報告事項

- 1 平成25年度「弘前大学特別研究員」の二次募集について
- 2 平成25年度弘前大学内地研究員選考結果について
- 3 医学研究科における寄附講座の設置について
- 4 理科離れ対策支援専門委員会（2/5）の報告について
- 5 地域共同研究センター運営委員会（2/27）の報告について

新任部局長等紹介

【平成25年3月25日発令】



食料科学研究所長
スズキ ヒロユキ
鈴木 裕之
農学生命科学部教授

新任教授紹介

【平成25年3月1日発令】



人文学部
ワタナベ マリコ
渡邊 麻里子
昇任
前職: 人文学部准教授

人事異動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年3月1日		太田 恵	一般職員(財務・財管)
平成25年3月1日		齋藤 紀先	准教授(医) [32.02.29まで]
平成25年3月6日		福士 美恵	一般職員(農生) [26.03.31まで]

[任用更新]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年3月16日		畑山 佳臣	助教(医) [30.03.15まで]

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年3月1日	准教授(人文)	渡邊 麻里子	教授(人文)
平成25年3月1日	講師(保)	三崎 直子	准教授(保)
平成25年3月1日	講師(保)	小倉 能理子	准教授(保)
平成25年3月1日	講師(保)	富澤 登志子	准教授(保)

[配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年3月1日	総務グループ主任(理工)	及川 秀和	施設整備・管理グループ主任(施設・整計)

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年3月1日	一般職員(財務・財管)	上明戸寛俊	一般職員(財務・予企室)
平成25年3月1日	一般職員(財務・予企室)	吉田富嗣	一般職員(理工)

[命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年3月25日	教授(農生)	鈴木裕之	食料科学研究所長 [27.03.24まで]

[免]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年3月31日	事務長補佐(総務グループ)(医)	土岐祐子	男女共同参画推進室室員
平成25年3月31日	准教授(農生)	田中和明	男女共同参画推進室室員
平成25年3月31日	講師(人文)	吉村顕真	男女共同参画推進室室員
平成25年3月31日	講師(教育)	李秀真	男女共同参画推進室室員

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年3月6日	契約グループ係長(財務・契約)	小野賢	開始 [25.03.31まで]
平成25年3月14日	看護師(病院・看護)	木村美加子	開始 [25.03.29まで]
平成25年3月26日	課長補佐(施設・整計)	村上育洋	期間更新 [25.09.25まで]
平成25年3月30日	看護師(病院・看護)	木村美加子	期間更新 [25.04.12まで]

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年3月6日	一般職員(農生)	篠村暁菜	開始 [26.03.31まで]
平成25年3月6日	助手(病院)	木村智美	開始 [25.09.30まで]
平成25年3月14日	看護師(病院・看護)	船水信后	開始 [26.03.31まで]
平成25年3月27日	教諭(教育・附小)	八木橋千佳子	開始 [26.03.31まで]

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年3月20日	看護師(病院・看護)	葛西敬子	辞職
平成25年3月26日	教諭(教育・附小)	伊藤由佳梨	任期満了
平成25年3月31日	学術情報部長	奈良岡芳美	定年
平成25年3月31日	本町施設グループ係長(施設・本町)	菊池孝雄	定年
平成25年3月31日	総務グループ係長(教育)	角田秀子	定年
平成25年3月31日	人事グループ係長(病院・総務)	吉田操	定年
平成25年3月31日	汽缶士(学務・学生)	藤田裕彦	定年
平成25年3月31日	実験助手(アイソ)	黒滝孝雄	定年
平成25年3月31日	教授(人文)	船木洋一	定年

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年3月31日	教授(人文)	四宮 俊之	定年
平成25年3月31日	教授(教育)	豊嶋 秋彦	定年
平成25年3月31日	教授(教育)	WESTERHOVEN JACOBUS NICOLAAS	定年
平成25年3月31日	教授(教育)	肥田野 豊	定年
平成25年3月31日	教授(農生)	宮入 一夫	定年
平成25年3月31日	教授(農生)	高橋 照夫	定年
平成25年3月31日	教授(保)	中村 光男	定年
平成25年3月31日	教授(理工)	須藤 新一	定年
平成25年3月31日	教授(理工)	匂坂 康男	定年
平成25年3月31日	教授(理工)	清水 俊夫	定年
平成25年3月31日	教授(理工)	吉岡 良雄	定年
平成25年3月31日	教授(新工系)	神本 正行	定年
平成25年3月31日	准教授(教育)	山形 昌弘	定年
平成25年3月31日	准教授(農生)	城田 安幸	定年
平成25年3月31日	准教授(農生)	萩原 守	定年
平成25年3月31日	准教授(医)	石原 弘規	定年
平成25年3月31日	准教授(保)	西野 加代子	定年
平成25年3月31日	准教授(保)	石戸 俊雄	定年
平成25年3月31日	准教授(保)	稲葉 孝志	定年
平成25年3月31日	講師(農生)	福地 博	定年
平成25年3月31日	講師(農生)	角野 三好	定年
平成25年3月31日	主任臨床検査技師(病院・医支)	斉藤 順子	定年
平成25年3月31日	看護部長(病院)	砂田 弘子	定年
平成25年3月31日	看護師長(病院・看護)	佐々木 幸子	定年
平成25年3月31日	看護師長(病院・看護)	品川 弘子	定年
平成25年3月31日	副看護師長(病院・看護)	工藤 恵理子	定年
平成25年3月31日	副看護師長(病院・看護)	菊地 壽美子	定年
平成25年3月31日	副看護師長(病院・看護)	工藤 ふみ子	定年
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	外崎 えつ子	定年
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	赤石 美智子	定年
平成25年3月31日	一般職員(医)	宮古 安希子	任期満了
平成25年3月31日	准教授(医)	梅田 孝	任期満了
平成25年3月31日	教諭(教育・附小)	齋藤 美奈子	任期満了
平成25年3月31日	教諭(教育・附中)	竹内 亜紗美	任期満了
平成25年3月31日	准教授(保)	中野 京子	勸奨
平成25年3月31日	看護師長(病院・看護)	増田 育子	勸奨
平成25年3月31日	副看護師長(病院・看護)	三宅 待子	勸奨
平成25年3月31日	副看護師長(病院・看護)	菊地 はるみ	勸奨
平成25年3月31日	学務部長	手塚 健郎	辞職

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年3月31日	施設環境部長	上野 泰弘	辞職
平成25年3月31日	財務管理課長(財務・財管)	針金 誠悦	辞職
平成25年3月31日	教務課長(学務・教務)	栗野 道夫	辞職
平成25年3月31日	入試課長(学務・入試)	大西 尊久	辞職
平成25年3月31日	整備計画課長(施設・整計)	佐々木 務	辞職
平成25年3月31日	環境安全課長(施設・環安)	工藤 宏	辞職
平成25年3月31日	医事課長(病院・医事)	北脇 清一	辞職
平成25年3月31日	総務グループ主任(農生)	永井 学	辞職
平成25年3月31日	一般職員(総務・広国)	佐藤 美貴	辞職
平成25年3月31日	一般職員(学務・教務)	高橋 美香子	辞職
平成25年3月31日	一般職員(医)	平ひろみ	辞職
平成25年3月31日	一般職員(病院・経調)	熊谷 和己	辞職
平成25年3月31日	技術職員(施設・施企)	金澤 雅	辞職
平成25年3月31日	教授(国際交流センター)	大西 純	辞職
平成25年3月31日	教授(教育)	猪瀬 武則	辞職
平成25年3月31日	准教授(人文)	笠原 幹	辞職
平成25年3月31日	准教授(人文)	山口 恵子	辞職
平成25年3月31日	准教授(教育)	田上 恭子	辞職
平成25年3月31日	准教授(教育)	石山 裕慈	辞職
平成25年3月31日	准教授(医)	相澤 寛	辞職
平成25年3月31日	准教授(医)	玉澤 直樹	辞職
平成25年3月31日	講師(教育)	澤 佳成	辞職
平成25年3月31日	講師(病院)	宮川 靖博	辞職
平成25年3月31日	講師(病院)	中村 吉秀	辞職
平成25年3月31日	助教(医)	目黒 玲子	辞職
平成25年3月31日	助教(医)	越前 崇	辞職
平成25年3月31日	助教(医)	崎原 哲	辞職
平成25年3月31日	助教(医)	石黒 敦	辞職
平成25年3月31日	助教(医)	菊地 隆	辞職
平成25年3月31日	助教(医)	渡辺 健一	辞職
平成25年3月31日	助教(医)	岸谷 正樹	辞職
平成25年3月31日	助教(医)	阿部 和弘	辞職
平成25年3月31日	助教(医)	大和田 真玄	辞職
平成25年3月31日	助教(医)	澤田 利匡	辞職
平成25年3月31日	助教(病院)	齋藤 新	辞職
平成25年3月31日	助教(病院)	林 彰仁	辞職
平成25年3月31日	助教(病院)	田中 治	辞職
平成25年3月31日	助教(病院)	大石 裕誉	辞職
平成25年3月31日	助教(病院)	和田 簡一郎	辞職

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年3月31日	助教(病院)	今野友貴	辞職
平成25年3月31日	助教(病院)	鈴木雅博	辞職
平成25年3月31日	助教(病院)	横田貴志	辞職
平成25年3月31日	助教(病院)	中井 款	辞職
平成25年3月31日	助手(医)	小田桐紗織	辞職
平成25年3月31日	助手(医)	蝦名正子	辞職
平成25年3月31日	助手(医)	黒田喜幸	辞職
平成25年3月31日	助手(保)	工藤うみ	辞職
平成25年3月31日	助手(病院)	三浦文武	辞職
平成25年3月31日	助手(病院)	小笠原尚志	辞職
平成25年3月31日	助手(病院)	滝吉典子	辞職
平成25年3月31日	助手(病院)	横田 恵	辞職
平成25年3月31日	助手(病院)	高田典和	辞職
平成25年3月31日	教諭(教育・附特)	西澤 亨一	辞職
平成25年3月31日	教諭(教育・附特)	福多 多香子	辞職
平成25年3月31日	教諭(教育・附特)	川村 肇	辞職
平成25年3月31日	教諭(教育・附特)	岩崎 義文	辞職
平成25年3月31日	副校長(教育・附小)	安藤 智史	辞職
平成25年3月31日	副校長(教育・附中)	矢田 公夫	辞職
平成25年3月31日	教頭(教育・附中)	酒井 清敏	辞職
平成25年3月31日	教諭(教育・附小)	蒔苗 元紹	辞職
平成25年3月31日	教諭(教育・附小)	宮崎 研也	辞職
平成25年3月31日	教諭(教育・附小)	地主 尚子	辞職
平成25年3月31日	教諭(教育・附小)	三浦 忍	辞職
平成25年3月31日	教諭(教育・附小)	種市 芳丈	辞職
平成25年3月31日	教諭(教育・附中)	西谷 英規	辞職
平成25年3月31日	教諭(教育・附中)	大久保 眞樹	辞職
平成25年3月31日	教諭(教育・附中)	須郷 和歌子	辞職
平成25年3月31日	教諭(教育・附中)	佐藤 秀仁	辞職
平成25年3月31日	理学療法士(病院・リハ)	佐藤 美紀	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	加藤 由莉香	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	西村 琴美	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	平嶋 清花	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	佐藤 麻理子	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	花田 裕香	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	奈良 夏子	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	内山 美穂	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	鹿内 千春	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	米澤 絵美	辞職

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	樽澤 亜紀子	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	櫻庭 千詠子	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	松山 悦子	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	中田 詩子	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	若山 美奈子	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	増田 艶子	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	富田 春菜	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	工藤 吾子	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	原田 絵美子	辞職
平成25年3月31日	看護師(病院・看護)	栗林 清子	辞職
平成25年3月31日	助産師(病院・看護)	高橋 由美子	辞職
平成25年3月31日	助産師(病院・看護)	高橋 容子	辞職
平成25年3月31日	助産師(病院・看護)	平山 久美	辞職

■ 主要日誌

- 3月4日 役員会
- 5日 教育研究評議会
- 6日 合格発表（前期日程・私費外国人留学生）
平成24年度学生表彰授与式
ストックホルム大学放射線防護研究センターと部局間学術協力協定を締結
- 7日 文部科学省科学技術戦略推進費 地域再生人材創出拠点の形成プロジェクト「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」平成24年度修了式
- 15日 平成24年度後期「高大連携公開講座修了証書授与式」
- 18日 役員会
- 19日 経営協議会・教育研究評議会合同会議
研究委員会
- 20日 合格発表（後期日程）
- 21日 総務委員会
永年勤続者表彰式
- 22日 学位記授与式及び大学院学位記授与式
- 25日 役員会
- 26日 TA研修会
- 27日 教育委員会

学内規則

(平成25年3月1日制定)

○弘前大学本町地区構内交通管理細則

本町地区の構内交通管理に関し必要な事項を定めるため、上記の細則を制定した。

(平成25年3月18日改正)

○国立大学法人弘前大学事務組織規程

以下の理由により、上記の規程の一部を改正した。

- ①国際交流センターの廃止、国際連携本部及び国際教育センターの設置に伴い、所掌事務の見直しを行う。
- ②学務部留学生課を廃止するとともに、所掌事務の見直しを行う。
- ③学術情報部の名称を研究推進部に変更し、共同教育研究課を廃止するとともに、所掌事務の見直しを行う。
- ④東京事務所を閉鎖し、東京事務所分室を東京事務所に名称変更することに伴い、所要の改正を行う。
- ⑤人事企画調整役を置き、財務企画調整役及び渉外調整役を廃止することに伴い、所要の改正を行う。
- ⑥平成25年4月1日付けで青森市柳川庁舎を「青森キャンパス」の拠点として位置づけ、青森キャンパスに北日本新エネルギー研究所及び食料科学研究所の事務を所掌する事務部を置くことに伴い、所要の改正を行う。

(平成25年3月18日改正)

○弘前大学21世紀教育履修規程

英語コミュニケーション実習の授業科目の体系を整備するとともに、学生にとって授業科目名を分かりやすくするため、上記の規程の一部を改正した。

(平成25年3月18日改正)

○弘前大学医学部附属病院規程

以下の理由により、上記の規程の一部を改正した。

- ①医療職員の専門的組織として医療技術部を新設し、管理運営の一元化を図る。
- ②文部科学省 GP 予算措置が終了し、キャリアパス支援センターの目的を達成したことに伴い、同センターを廃止する。
- ③新たに病理診断科を追加し、患者サービスの一層の向上を図る。

(平成25年3月18日制定)

○弘前大学教員業績評価に係る教員派遣制度実施要項を廃止する要項

平成24年度限りで教員業績評価に係る教員派遣制度を廃止するため、上記の要項を制定した。

(平成25年3月18日改正)

○教員業績評価及び組織評価に係るインセンティブについて

平成24年度限りで教員業績評価に係る教員派遣制度を廃止することに伴い、平成23年度に実施した教員業績評価において、いずれかの評価分野で「特に優れている活動がある」と評価を得た者に係

る経過措置を定めるため、上記の一部を改正した。

(平成25年3月21日改正)

- 国立大学法人弘前大学職員就業規則
- 国立大学法人弘前大学契約職員就業規則
- 国立大学法人弘前大学パートタイム職員就業規則

以下の理由により、上記の規則の一部を改正した。

- ①有期労働契約が繰り返し更新され通算5年を超えた場合、労働者の申込みにより無期労働契約に転換されることとなる等を内容とする労働契約法（平成19年法律第128号）の改正がなされたことに伴い、これに対応するための所要の改正を行う。
- ②高齢者等の雇用の安定等に関する法律（昭和46年法律第68号）の改正により、継続雇用制度の対象者を限定できる仕組みが廃止されることとなるため、これに対応するための所要の改正を行う。
- ③国家公務員の取扱いに準拠し、ドナーとなる場合及び災害により被災した場合に取得することができる休暇について、当該休暇の取得に係る事由を追加する改正を行う。

(平成25年3月21日改正)

- 国立大学法人弘前大学職員任免規程
- 国立大学法人弘前大学特命教員に関する規程
- 国立大学法人弘前大学職員任免等手続細則
- 国立大学法人弘前大学契約職員及びパートタイム職員任免等手続細則

有期労働契約が繰り返し更新され通算5年を超えた場合、労働者の申込みにより無期労働契約に転換されることとなる等を内容とする労働契約法（平成19年法律第128号）の改正がなされたことに伴い、これに対応するため、上記の規程等の一部を改正した。

(平成25年3月21日制定)

- 国立大学法人弘前大学職員の再雇用に関する規程
- 国立大学法人弘前大学職員再任用規程を廃止する規程

高齢者等の雇用の安定等に関する法律（昭和46年法律第68号）の改正により、継続雇用制度の対象者を限定できる仕組みが廃止されることとなるため、これに対応するため、上記の規程を制定した。

(平成25年3月21日改正)

- 国立大学法人弘前大学大学院修学休業規程
- 国立大学法人弘前大学職員の自己啓発等休業に関する規程
- 国立大学法人弘前大学職員給与規程
- 国立大学法人弘前大学職員退職手当規程
- 国立大学法人弘前大学期末手当、勤勉手当及び期末特別手当支給細則
- 国立大学法人弘前大学職員の勤勉手当成績率決定基準

国立大学法人弘前大学職員就業規則を改正し、再任用職員を再雇用職員に改めることに伴い、上記の規程等の一部を改正した。

(平成25年3月21日改正)

- 国立大学法人弘前大学学長特別補佐（非常勤）について
-

学長特別補佐の職務及び職責に適合した給与水準とするため、上記の一部を改正した。

(平成25年3月21日改正)

○国立大学法人弘前大学職員の区分、種類及び職名に関する細則

国立大学法人弘前大学契約職員就業規則及び国立大学法人弘前大学パートタイム職員就業規則を改正することにより、職員の種類を変更するため、上記の細則の一部を改正した。

(平成25年3月25日改正)

○国立大学法人弘前大学管理運営規則

○国立大学法人弘前大学における教員の任期に関する規程

○国立大学法人弘前大学職員給与規程

食料科学研究所の設置に伴い、上記の規則等の一部を改正した。

(平成25年3月25日制定)

○弘前大学食料科学研究所規程

○弘前大学食料科学研究所教授会規程

食料科学研究所に関し必要な事項を定めるため、上記の規程を制定した。

(平成25年3月25日改正)

○国立大学法人弘前大学役員退職手当規程

以下の理由により、上記の規程の一部を改正した。

①民間における退職給付の実情に鑑み退職手当の引き下げを行うことを内容とする国家公務員の退職手当制度の改正に準じ、退職手当の引き下げを行う。

②役員としての在職期間に、複数の異なる役職の役員在職期間を有する役員の退職手当の計算において、異なる役職ごとに業績評価率を勘案できるよう、所要の改正を行う。

(平成25年3月29日改正)

○国立大学法人弘前大学職員給与規程

室長の職位を見直すことに伴い俸給の特別調整額に係る所要の改正を行うため、上記の規程の一部を改正した。

弘前大学学報第108号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111